

テイコプラニン		7391000		
テイコプラニン		担当部署		
テイコプラニン		生化		
検査オーダー				
患者同意に関する要求事項		特記事項なし		
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→薬物→		
	2			
	3			
	4			
	5			
検査に影響する臨床情報		特記事項なし		
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00		
検体採取・搬送・保存				
患者の事前準備事項		特記事項なし		
検体採取の特別なタイミング		トラフ、ピークなどの指示がある場合は、指示通り		
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8 mL
2	-	-	-	-
3	-	-	-	-
4	-	-	-	-
5	-	-	-	-
6	-	-	-	-
7	-	-	-	-
8	-	-	-	-
検体搬送条件		室温		
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体		
保管検体の保存期間		冷蔵・2週間(追加検査については、検査室に要問合せ)		
検査結果・報告				
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部		
測定時間		当日中～翌日		

生物学的基準範囲		設定なし				
臨床判断値		15-30 μ g/mL ナノピア TDM テイコプラニン 添付文書				
基準値					単位	μ g/mL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
15	30	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>テイコプラニンは新しく開発されたグリコペプチド系抗生剤である。</p> <p>Actiplanes teicomycetius から分離された発酵抽出物でありバンコマイシンとともに MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)をはじめとするグラム陽性菌に優れた抗菌力を発揮する。</p> <p>グリコペプチド系抗生剤は腸管で吸収されない為、注射薬として使用され、約 50 時間の半減期を持って血中を推移する。</p> <p>有効治療濃度は確立していないが、MRSA 感染症を対象として trough 濃度で 5 ~10 μ g/mL が推奨されている。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 208</p>				